

警察庁の発表によると、2017年の交通事故による全国の死者数は、1949年の3790人を68年ぶりに下回り、過去最少の3694人でした。死者のうち2020人は65歳以上の高齢者で、

過去2番目に高い54.7%を

## 交通死 過去最少

占めました。飲酒運転による死亡事故は前年より12件少ない201件で、統計の残る90年以降、最少でした。

交通事故死者数は、車の普及に伴い増加し、「第1次交通戦争」と呼ば

れた70年に過去最悪の1万6765人を記録しましたが、96年に1万人を切つてから減少傾向が続いていました。

交通死が減少した要因は、シートベルト着用義務の義務化や車の安全性の向上のほか、

認知症対策など高齢ドライバーの安全対策が功を奏したとみられています。一人ひとりがさらに意識を高め、交通事故防止に努めましょう。



交通安全10メモ